

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度音楽会を経験したことで、口形を意識して発音に気を付けながら、遠くへ声を届けるイメージをもったり、互いの声を聴き合いながら音の重なりを意識したりしながら歌うことができるようになった。
- ・いろいろな楽器を使用し、友達と音を重ねたり、旋律を合わせたりすることで協調性が芽生え、協力して創り上げる楽しさを感じられるようになった。
- ・友達と声を重ねて歌い合わせる活動では、互いのパートの声を聴き合い、正確な音程で呼吸を合わせながら歌うことができるようになってきた。
- ・音楽の仕組みに気付いたり、扱う要素を用いて楽曲の構成を理解したりすることができるようになってきた。

(2) 課題

- ・歌詩の内容から、作者の意図を汲み取ったり、感じたことを言葉にして表現したりすることに、苦手意識をもっている子が多い。
- ・旋律の動きや強弱と歌詞の内容との関わりについて気付くことができない児童がいる。
- ・器楽楽器など新しいことへ挑戦せず、できる楽器のみで満足してしまう児童がいる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・より確かな音程で歌うことができるよう、音の高さに気を付けながら歌う学習を重ね、全体で楽しく歌う活動の中で、口の形や声の届く先などを意識させ、きれいに響く歌声で正しい音程に近付けるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカにより親しみ、段階を追って課題曲を提示する。階名唱や部分奏、リズム楽器や歌との組み合わせによって、楽しみながら学習できるようにしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもって学習に取り組み、曲や演奏の楽しさを見出し、曲全体を味わって聴けるようにする。 |

(2) 中学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・正しい奏法で演奏し、音楽表現の楽しさに気付くことができるように、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに気付いて演奏できるようにさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図に合った表現をするために音色や響きに気を付けて、演奏するために必要なことに気付くようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が演奏する楽しみだけでなく、友達の演奏も楽しんで聴くことができるように、リレー形式で一人ずつ演奏することで友達の演奏を聴く機会をつくる。 |

(3) 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・楽器を丁寧に扱い、正しい奏法で演奏できるようにパート練習の時間を十分にとり、個別に指導する。・歌唱では旋律の動きや強弱と歌詞の関わりに気付き、表現できるよう指導する。 | <ul style="list-style-type: none">・互いの音を聴きながら、パートのバランスや歌詞の意味を考えて音を合わせていくにはどんな表現の工夫ができるかを話し合うようにする。 | <ul style="list-style-type: none">・引き続き、音楽を聴いたり、楽譜を見たりして、音楽を形づくっている要素に気付き、主体的に表現の工夫を発表することができるよう取り組ませる。 |